

西野博之さん講演会報告

## 「子ども時代」の失敗は可能性の宝箱

～子どもにとって良かれと思っていることが  
子どもの本当の幸せになっていますか？～

私たちには、講演を聞いて  
こんな気持ちになりました。

「生まれてきてくれてありがとう」が日々の生活の中で忘れ去られていた気がします。本当に原点に戻らないといけないですね。(5,1才母 / S.M.)

今日は本当に来て良かったです。共感する言葉が多くて、気づいたら沢山メモしていました。母として、家族として、地域・社会として課題は山積みだけど、一つ一つの命が輝いてほしいです。(1,3才母 / M.K.)

6年生の我が子のやることがのんびりで、つい口をだしてしまっていますが、このお話を聞いて、その子の力を奪わないように気をつけていきました。子育てすることが大変と思っていましたが、気持ちが楽になりました。(匿名希望)

生まれてきてくれてありがとうの言葉が身に沁みます。怒ってばかりいる5年生の長男の顔が浮かび、涙が出来ました。原点に返って、子どもたちと一緒に生きていきたい！！(10,8,5,3才母 / J.I.)

講演を聞いて「食う、寝る、出す」以外はなんとかなるさと思ってみようかなと考えています。(4,1才母 / 匿名希望)

日々迷いの中、子どもと過ごす私たち親に優しい言葉でお話いただき、ホッとしました。「正しいことばかり言ってれば正しい子に育つわけではない。親がちょっとズッコケてるくらいが子どもはイキイキする」という言葉に、ありのままの親子でいいんだと思えました。(M.H.)

今、失敗しないで

今、お母さんたちを苦しめていること  
子育て世代のお父さん、お母さんにのしかかる  
正しい子育て観。  
その評価が全部、私（親）の評価になっている。  
だから、みんなの目線を気にして子育てしている。  
しんどい時代になったなあ、と思う。  
親だって失敗していい！

できるだけ失敗した方がいい。  
人間は、悲しさをしっかりと  
自分に取り込んで、  
悔しさ、悲しさ、怒り…  
それを乗り越える力を  
持っているはず。  
でも、「失敗させちゃいけない」  
「恥をかかせちゃいけない」  
そういう思いをさせないように  
することが子育ての大  
事なことになっちゃった。  
「今日のフリーキック  
失敗しちゃった、悔しい、悲しい」  
できなかつたこと、  
失敗したことも受け止めていく。  
そこで大事な気持ちが育つ。



まさに昨日、「ウソをついていた」ということに、ひどく2年生の娘を責めたところでした。今日、お話を聞いて、私のほうが子どもを追い詰めていたことに気付かされ、心が痛みました。(12,7,4才母 / M.I.)

現在、2才男子を子育て中の母親です。イヤイヤ期まっさかりで、ついつい大人のものさしで大人のベースになるよう…声をかけてしまっている今の自分にとってとても身にしみるお話をでした。子どもと共に成長しようと思います。(N.Y.)

去る7月4日（土）に、西野博之さん講演会を開催しました。雨が心配される中、204人（大人122人・子ども82人）の方が参加し、「子どもにとって本当に大切なこと」を考える貴重な時間となりました。

この日、まなざしTシャツを着て森にいらした西野さん。「子どもへのまなざしスタッフの西野です」という、嬉しいジョークから講演会が始まりました。今回も、暖かいまなざしで私たち一人ひとりに語りかけてくださいました、その言葉の数々と、参加された皆さんを感じたことをご紹介しながら、当日を振り返ります。

西野さんの  
新刊があります！



- 右から  
▶西野流「ゆる親」のすすめ＜上＞  
～7歳までのお守りBOOK～  
「正しい母さん・父さん」を頑張らない。  
▶西野流「ゆる親」のすすめ＜下＞  
～10歳からの見守りBOOK～  
だいじょうぶのタネをまこう。  
どちらもジャパンマニスト社

講演会で話したことはこの本に書いてありますから！とおっしゃっていた西野さん。

お守りのように、すぐ手にとって読めるように、西野さんが中身にまでこだわったそうです。

その通り、詩や絵本を読む穏やかな気持ちになれる本です。西野さんの、子育て中の親への愛が詰まった2冊です。ぜひ読んでみて！

講演会終了後、西野さんとお話ししたい！相談したい！という参加者の列が1時間近く途切れることはありませんでしたが、その最後の1人まで丁寧にお話を聞いて下さっている姿が印象的でした。

30年以上に渡り、生きづらさを抱えた子どもたち、子育て世代の私たちに寄り添って居場所を創ってきた西野さん。

その情熱と、相手に寄り添い大切にする優しさを間近で感じることができ、とても幸せな学びの時間となりました。

自分が子どもにしていた、様々なことが逆効果だったなど気付きました。「お母さん、笑ってる？」と毎日子どもに聞かれることがしんどくてすがる思いで聞きにきました。ありがとうございました。(4,1才母 / 匿名希望)

5才の娘がいます。まだ生まれて5年しか経っていないのにできないことばかりが気になります。やってはいけないとわかりながらも他の子と比べてしまい、ダメ母だと落ち込む日々でした。でも、もっとゆったりと軸がぶれないうように、自分自身も頑張りすぎず楽しみたいと思います。(5才母)